NIE実践報告

１．タイトル：☆記者に学ぼう「新聞記事」の作り方

２．学校名

兵庫県立三木東高等学校

３．実践者名（代表者名）

橋本　尚喜

４．学年

第1学年

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語総合

６．単元（本時の学習課題）名

簡潔な文章の書き方

７．目標（狙い）

新聞記事を参考にしながら、5W1Hを軸に事実を漏らさず適切な文章を書く。

８．評価の視点

(1)興味関心を持って、記者の話を理解できたか　(2)資料プリントを的確に理解し、作業に取り入れられたか
(3)見出しの大切さや、簡潔な文章の書き方を身につけられたか　(4)自分の記事をまとめられたか

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

表現領域を重視した学習指導要領に基づき、各単元のまとめとして文章の作成をさせる(1/10時間)

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

1.新聞記者・斉藤正志さんの話をしっかり聞く　必要な点はメモをとる(10分)
2.新聞記者の仕事･新聞記事の役割についてしっかり理解する(15分)
3.実際に新聞記事を書いてみる(15分)
4.添削を受け、自分の文章作成能力を高める･難しかった点をまとめる(10分)

(留意点)
･あらかじめ新聞記事を読ませて、新聞への関心を高める
･外部講師からの刺激を受け、通常の授業とは違った観点で授業をうける
･資料プリントに目を通し、できるだけ具体的に記事作成にあたらせる
･話を聞くだけでなく、質問を通じて自己表現力を高める
･授業後も継続的に新聞記事を作成し、質の高い文章作成をめざす

11．児童・生徒の反応、感想・意見

質問を積極的にする生徒が多かった。推敲の時間が短く、添削に時間を取ってほしいという意見がみられた。

12．成果と課題

記者派遣事業を活用したことで、NIEの推進に広がりが出た。また、写真の重要性をよく理解し、見出しを工夫する姿勢が見られた。ウェブやTVと違った、新聞の魅力を今後とも伝えたい。